

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：柏木君夫、岡元正史

● 沖縄に豚を運んだ7名の勇士

1972年5月15日、沖縄の施政権が日本国に返還された。

さかのぼること、1948年、アメリカ合衆国による沖縄統治の時代。

戦前ハワイに移住したウチナンチュー移民が、新聞で沖縄の食糧難を知り、「ハワイ連合沖縄救済会」を設立し、ラジオを通して、募金を募り、3ヶ月間で、3万人から5万ドル（月給が60ドルの時代）が集まった。



その募金で、雌豚500頭、雄豚50頭が贈られた。

沖縄に誰が豚を運んでいくのか。多くの希望者がいたが、選ばれたのが7名。

獣医、大学で豚の知識があるもの、養豚者、会計担当、料理人、16ミリカメラ担当（詳細な映像資料を残している）。

選ばれた品種は、チェスターホワイト種。脂身が多い肉質で、食用油が不足していた時代にラードを作るためだった。

1ヶ月かけて、豚550頭は沖縄に到着。黒豚しか見たことがなかったウチナンチューは、「アメリカは、豚まで白い」といったという。

沖縄民政府は、町や村に配り、食用にせずに、繁殖を奨励する。

3年後には、10万頭までに増えた。

今は沖縄に、チェスターホワイト種の豚はいない。

豚は、捨てる所がないという。沖縄には「豚は鳴き声以外はすべて食べる」という言葉があるほどで、すべての部位を無駄なく食べる文化と料理の技術がある。

石垣島出身の「BEGIN」という3人組のグループがいる。

彼らは沖縄のコンサートで募金を募って、ハワイに550本の楽器を送る「豚の音（おん）がえし」という活動を行っている。

● アグー豚

「豚」繋がり。

アグー豚は琉球在来の黒豚で、中国から渡来したとされる豚を起源とする一品種。

戦前は10万頭飼育されていたが、沖縄戦で数が減り、また日本兵に食べられたり、戦後はアメリカ兵に食べられた。諸説あるが、30頭あるいは23頭まで減少し、絶滅が心配された。

沖縄県立北部農林高等学校（名護市）の教諭や生徒たちが協力し、戻し交配法によって絶滅を免れた。今は数百頭まで、増えているようだ。

これからの予定 5月6日（木）、14日（金）の定例会は、中止です。